

目 次

平成23年度日本水産学会中部支部大会 ミニシンポジウム「日本海中部の沿岸漁業」を終えて 升間主計（日本海区水産研究所資源生産部） 安沢 弥（新潟県水産海洋研究所漁業課）	3
ヒラメ資源の現状と今後の展開 上原伸二・井関智明・八木佑太（資源管理部沿岸資源グループ）	5
七尾湾での放流トラフグによる漁業振興の可能性 榮 健次・手塚信弘・小磯雅彦（水研セ日水研資源生産部初期餌料グループ） 友田 努（水研セ増養殖研資源生産部沿岸資源グループ） 赤岩隼人・奥野真弓（七尾市農林水産課）	7

表紙の解説

今にも泳ぎ出そうとするヒラメ

ヒラメは日本海の沿岸漁業の重要種であり、種苗放流や資源管理が行われています。特に青森県の漁獲量は日本でもトップクラスで、ヒラメが県の魚として指定されています。平成23年度魚種別系群別資源評価（ダイジェスト版）によると、日本海北・中部系群のヒラメ資源は「低位・横ばい」とされ、今後も資源の増加に向けた管理方策を行う必要があると考えています。